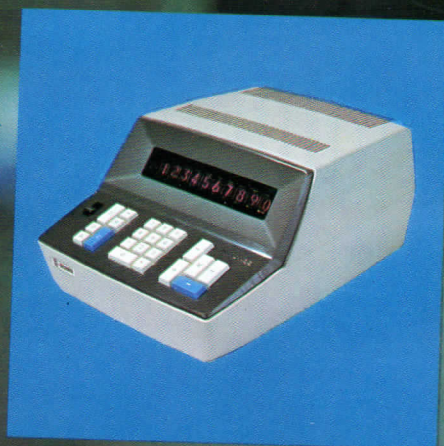




日通工《高性能》卓上形電子計算機

エポック-20



高度の電子技術が生んだ ニュータイプの卓上形電子計算機

エポック-20は、通信機メーカーとして50年の歴史を誇る日通工のすぐれた電子技術の結晶です。

これまでの製品と異なり、実用性を追求し、アクセサリ的機能を除き、必要な機能のみをまとめました。

除算は10桁、乗算は20桁の答が得られ、またリコールキーにより乗算のオーバーフローした数と除算の余りを呼びだし、メモリーの役目もはたします。

そのほか、このタイプでは考えられない大きな計算ができます。

大企業をはじめ、中小のオフィス、商店など、広くご利用いただける高性能・実用型電子計算機です。

エポック-20の仕様

■演算機能

加減算・乗除算・連乗・連除・積和・定数計算・元利合計計算
その他混合計算

■演算速度

加減算 1msec
乗算 50msec
除算 500msec

■小数点方式

完全自動小数点方式

■桁数

表示 10桁

置数・加減算 10桁

乗算：

被乗数10桁・乗数10桁・積20桁

除算：

被除数 9桁・除数 9桁・商10桁

■その他の機能

オーバーフローリターン装置・置数訂正装置・置数二重打防止装置

■演算素子

全IC（集積回路）

■電源

AC90～110V 50または60Hz

■消費電力

12W

■寸法

巾27cm×高さ17cm×奥行39cm

■重量

7kg



ALL IC Epoch

エポック-20の特長

1

充実した性能、高い信頼性

演算素子に、すべて当社開発のICを採用しているので、このタイプでは、最も充実した性能で、高い信頼性を誇っています。

2

乗算、除算機能が抜群

乗算は、20桁の答が得られます。除算は被除数、除数の桁数に関係なく、答は10桁まで求められます。さらに余りも10桁まで算出でき、それを割ることで10桁以上、無限の答を出すこともできます。

3

定数乗算と混合計算が簡便

定数乗算をはじめ、混合計算の元利合計、元価割出計算は、操作手順がすくなくすみ、迅速に、簡単に計算ができます。

4

理想的な自動小数点方式を採用

どの計算でも、小数点が自動的に位取りができるので、オペレーターは煩雑から解放され、大変能率的です。

5

保守、点検が容易

内部の回路は、すべてプラグイン方式を採用しているので、保守、点検が容易にできます。

6

操作は簡単で低価格

キイの配置、インジケータの角度など、人間工学を基礎に設計されているので、非常に使いやすく、しかもお求めやすい低価格です。



Epoch-20 189,000円

エポック-20の各部の名称

■キーボードの名称

- シグマキ
- クリアーキー
- オーバーフローリターンキー
- オートリセットキー
- リコールキー
- バックキー
- 1~9|0 置数キ
- 小数点キ
- 乗算キ
- 除算キ
- プラスキ
- マイナスキ
- イコールキ



エポック-20の計算例

■加減算 $6.3 + 24.78 - 9.2 + 4.15 = 26.03$	○ 6□3□+24□78□-9□2□+4□15□=26.03
■乗算 $4.2 \times 8.69 \times 0.073 \times 9 = 23.979186$	○ 4□2□×8□69□×0□73□×9□=23.979186
■除算 $12.2 \div 0.64 \div 3.1 = 6.1491935483870 \dots$	○ 12□2□÷0□64□÷3□1□=6.14919354 <small>商の小数点以下がもっと必要な場合</small> ○ 0□31□=838709677
■定数乗算 $3.14 \times 1.4 = 4.396$ $3.14 \times 7.2 = 22.608$ $3.14 \times 9.6 = 30.144$	○ 3□14□×1□4□=4.396 ○ R□7□2□=22.608 ○ R□9□6□=30.144
■積和算 45.64×7.2 7.42×18.16 $\frac{360.88 \times 2.06}{1206.768}$ (+)	○ ↓45□64□×7□2□=7□42□×18□16□ ○ 360□88□×2□06□=1206.768
■混合算 $\frac{(3.44 + 19.2 - 4.08) \times 14.8}{9.6} = 28.61333 \dots$ $18.1 + (4.9 \times 3.81) + 25.08 + (9 \times 2.2) = 81.649$	○ 3□44□+19□2□-4□08□×14□8□=28.61333 ○ 18□1□+4□9□×3□81□+25□08□+9□2□2□=81.649
■応用 $\frac{\text{元金} \times \text{年利率} + \text{元金}}{\text{元利合計}}$ $\frac{\text{元金} - (\text{元金} \times 0.215)}{\dots} = \text{元金}$	○ 1456000□×0□072□+1456000□=1560832.000 ○ 45000□-45000□×0□215□=35325.000

以上の計算のしかたは、ごく基本的なものです。これらをいろいろ応用した各種の計算が簡便に、迅速に、しかも正確にできます。



日本通信工業株式会社

本社 〒213 川崎市北見方 2 6 0 TEL(044)82-5131
 商品営業部 〒101 東京都千代田区神田淡路町1-9 TEL(03)253-0927
 大阪営業所 〒542 大阪市南区順慶町通 2-3 8 TEL(06)262-0551